

- (法第 26 条関係「定款変更認証申請」)
(法第 28 条関係「書類の備置き」)
(法第 29 条関係「事業報告書等の提出」)

2021 年度の事業報告書

2021 年4月1日から2022 年3月31日まで

認定NPO法人 a c c o m m o n

I 事業の成果

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 座談会事業 (TSUDOI)

毎月1回の座談会「TSUDOI」を開催した。新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、オンライン (Google Meet) と対面を併用して開催した。事務所で開催する場合は、定員を設けた上でパーティションを設置し、小グループで行った。県外からの参加があったり外出中でも参加できたりと、オンラインの利便性が垣間見られた。

12月11日(金)にはオンラインで親子の夜のTSUDOIを開催した。画面越しの交流に抵抗があったり、恥ずかしがったりする子もいたが、時間とともに緊張が解けたり、耳で参加したりと各々のペースで参加できた。得意分野を持っている子が、他の子から受けた質問に対し、図鑑を持ってきて説明する場面も見られた。親と一緒に楽しい雰囲気の中で参加することで、意図せずオンラインで交流することの練習にもなっていた。



② 勉強会事業

■ 勉強会・ワークショップ

オンラインでワークショップ形式、テーマ座談会形式の勉強会を行う予定であったが、いずれも行えなかった。新型コロナウイルス感染症における岩手県独自の緊急事態宣言の発令により、キャリア学習イベントを対面からオンライン開催へと急遽計画変更しなければならず、対応に追われることとなった。そのため人出が足りず、勉強会事業については断念せざるを得なかった。

■ ペアレント・トレーニング

今年度は新規の受講の要望が無かったため、行わなかった。

■ 「学校・園との連携ガイド」出版・販売（勉強会付帯事業）

平成30年度から継続してきた「学校との連携」についての勉強会・ワークショップの内容をまとめた「学校・園との連携ガイド（2020年 岩手県版）」の販売を昨年度に引き続き行った。



③ 学習支援事業

■ まなびのHIROBA

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、親子での学習支援活動を大人数で集まって開催することは控えた。イオンのギフトカードで購入した書籍やカードゲームを会員内SNSで紹介し、希望者が借りられるように情報提供を行った。

感染状況が落ち着いたタイミングを見計らい、8月にはKITENE様に遠足に行き木工工作を行った。沢山の端材、ネジ、ビスなどの材料や塗料を使い、自分の発想でオリジナルの木工作品を作り上げた。また、12月には対面でのアナログゲーム大会を行った。自分のカードゲームを持ってきてくれた子が率先してサポートをして、全員で一つのカードゲームで遊ぶことができた。そのゲームを初めてやる子も、やったことがある子も一緒になって同じゲームに参加し、自然と子ども同士のやり取りや会話が生まれていた。





■ ガイドブックの販売（まなびのHIROBA 付帯事業）

NPO法人Hahato・co盛岡支部で作成したガイドブック「こんなことあるかな？
こうしてみよう！」を寄付金付きグッズとして販売した。

■ 作品の販売（まなびのHIROBA 付帯事業）

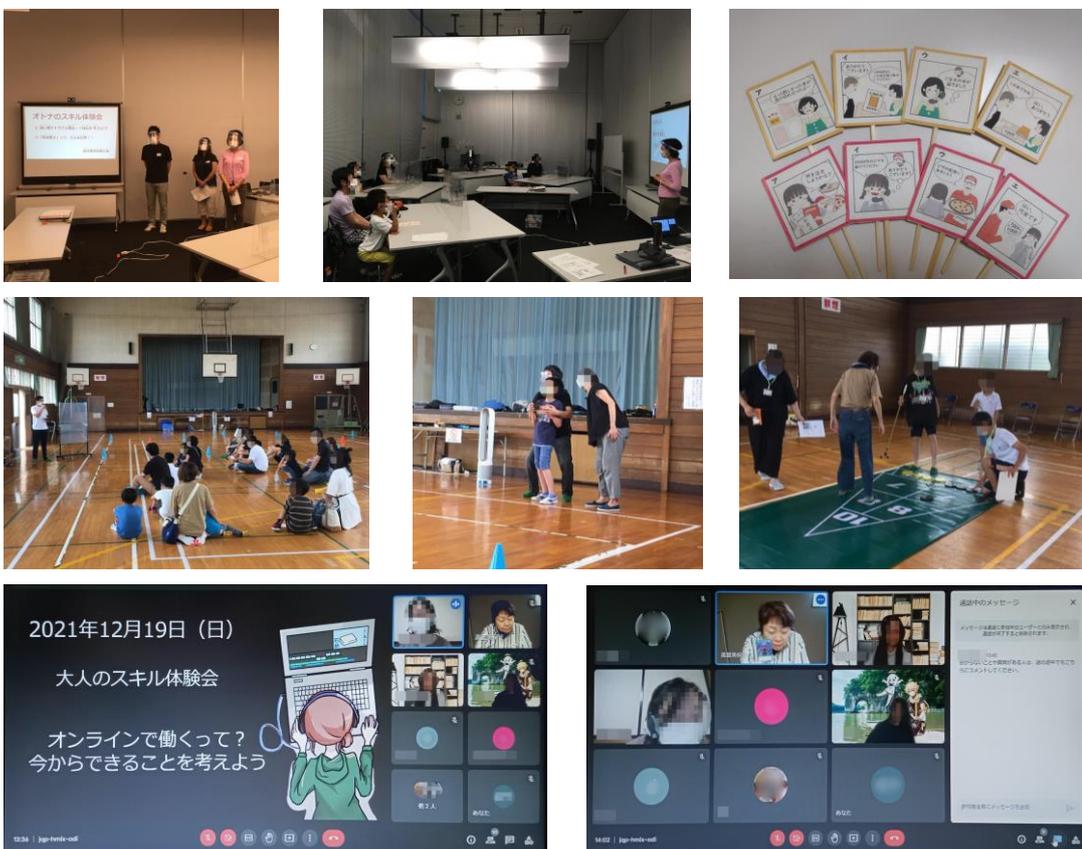
これまでは、まなびのHIROBAで作製した子どもたちの作品をアイーナの復興応援バザーに出品し、売り子として販売の手伝いをする体験や自分の作品が購入される体験も提供してきたが、今年度も新型コロナウイルスの影響で、アイーナの復興応援バザーが開催されなかった。そのため、ホームページや事務所の一画で子どもたちの作品を販売し、作製した子どもたちには好きな景品と交換できるまなびポイントで還元した。また、賛助会員の新規申し込みや更新の際にも、子どもたちの作品をお礼の品として送付した。



■ キャリア学習

今年度からは職業体験だけでなく、働くことが具体的にイメージしにくい子どもへ向けて、大人としての自立に必要なことをテーマとして、職業と関連付けながら学ぶ回も設けた。8月の岩手県独自の緊急事態宣言にともなって、年度後半はオンラインで開催できる内容に変更してイベントを開催した。

岩手県司法書士会の先生方に契約の大事さ、司法書士というお仕事についてクイズ形式で学び、佐藤興産のインストラクターの方々から直接指導を受けドローンを飛ばす体験をした。緊急事態宣言以降のオンライン開催では、いわてパノラマ福祉館の高館先生から、オンラインで働くことについてワークの形で具体的に考える機会をいただき、「色々な高校の話聞いてみよう！」では高校を卒業した先輩たちから、他ではめったに聞くことのできない貴重な体験談を聞くことができた。



参加者の感想（アンケートより抜粋）

【買い物でトラブル発生！？対応を考えよう（司法書士）】

・これから買い物をする時は、売買契約をする前に本当に必要な物かをよく考えてから買い物をしたいです。（子ども）

・私は食べ物に関しては何も考えることなくすぐ買ってしまいます。文具とかも欲しいなと思ったら買い、半年ぐらいで一度は飽きてしまいます。飽きた後

も、9ヶ月から1年くらい経った時、また使います。キャラ系は飽きやすいので、もう少し計画をもって買い物をしたいです。（子ども）

・「売買契約」という子どもにはちょっと難しい内容をクイズ形式で楽しく学べたと思います。「買い物」から「約束」の大切さ、慎重に考えることをかんじとってくれていればいいなあ…と思います。（保護者）

・皆さんの司法書士になったきっかけが聞いて良かったです。上の子が将来についていろいろ悩んでいて、大学で勉強したことでそこについて近い仕事につかなければいけない…という気持ちがあったりするのですが、もっと柔軟に考えていんだなと思ったし、親として手伝えることがあるとしたら、いろんな職業を知るきっかけを知らせる、とか選択肢を増やすことだなと思いました。ありがとうございました！！（保護者）

【ドローンで何ができる？未来を考え飛ばしてみよう】

・ドローンを飛ばす際の練習方法が分かったので、とても楽しかったです。（子ども）

・ドローンの操作をもっとやってみたい。（子ども）

・興味ある事にとっても真剣に集中して取り組んでいる息子の姿を見れ、とても嬉しかったです。ありがとうございました。（保護者）

・ドローンのこれからの可能性についてのお話が親にとって大変勉強になりました。子どもはお話の途中飽きてしまっていたのですが、頭の片隅には残っていると思うので、何かの時に思い出して将来のキャリアを考える一つの選択肢になってくれたらいいなと思います。ありがとうございました。（保護者）

【オンラインで働くって？今からできることを考えよう】

・とても勉強になりました！質問しそびれてしまったのですが、どうして岩手、東北ではあまりテレワークが普及していないのか、高館先生の意見がお聞きしたいです！個人的にはコロナが都心方面より増えなかったことで、大きな打撃を受ける会社が少なかったからというのと、車社会だからなのかな？と思っています。

・みんなが画面オフにしているので、顔出ししづらかった。いつ発言したらいいかわからなかった。表情がわからないので発言しづらかった。知らない人がいて、その相手の様子がわからない中で発言はしづらい。

【中学卒業後どうする？色々な高校の話聞いてみよう！】

・本人の実際の声が聞いて良かったです。

・子ども本人は参加せず、親のみ視聴させてもらいました。本人にもぜひ聞かせたかった内容でした。

オトナのスキル体験会前半チラシ

認定 NPO 法人accommon
いわて子ども希望基金助成活動



アコモン 🔍 で検索!

集団活動が苦手な子のための

オトナのスキル体験会

大人になるってどういうこと？ 学校などの集団活動ではイメージするのがむずかしい子に、お仕事や生活で役立つ様々なスキルを紹介するよ。一緒に体験して、未来のことを考えてみよう。

対象 集団活動が苦手な子どもとその保護者
※小学校高学年から中学生程度の内容です。
※中学生までは保護者同伴でお願いいたします。

申込 各会10日ほど前まで(定員になり次第×切)
※行事保険を掛けますのでお早めにお申込みください。

6/27

日

買い物でトラブル発生！？対応を考えよう



① 13:30
↓
14:30

② 15:00
↓
16:00

受付:①13:15～ ②14:45～
場所:アイーナ会議室501
講師:岩手県司法書士会の先生
参加費:子ども1人500円
定員:各回親子5組(10名程度)
クイズで楽しく学ぶ買い物トラブルの
避け方。司法書士のお仕事のお話も聞
いてみよう

8/1

日

ドローンで何ができる？未来を考え飛ばしてみよう



① 13:30
↓
15:00

② 15:30
↓
17:00

受付:①13:15～ ②15:15～
場所:乙部体育館
講師:佐藤典彦 佐藤亮厚氏
参加費:子ども1人500円
持ち物:上履き
定員:各回親子10組(20名程度)
ドローンを飛ばす体験と新しい仕事を
"つくる"ワクワクに触れてみよう

スキルをゲット!

体験会に参加してゲットできるオトナスキルは全4種。



シールを集めて
コンプを目指そう!

ご協力者様を募集中です

子どもたちのキャリア教育・体験に力をお貸しくださる事業主のみなさまを募集しております。

ご協力よろしくお願いたします。



LINE公式
アカウント

アコモン



@accommon

主催:認定 NPO 法人accommon 後援:盛岡市教育委員会 滝沢市教育委員会* 矢巾町教育委員会* 紫波町教育委員会*(申請中)
※この事業は公益財団法人いきいき岩手支援財団の「令和3年度いわて子ども希望基金」の助成を受けて実施いたします。最新の予定は、ホームページをご確認ください。







オトナのスキル体験会後半チラシ

認定 NPO 法人accommon
いわて子ども希望基金助成活動



集団活動が苦手な子のための

オトナのスキル体験会

大人になるってどういうこと？ 学校などの集団活動ではイメージするのがむずかしい子に、お仕事や生活で役立つ様々なスキルを紹介するよ。なりたい大人になるためにどんな進路があるのかな？ 今からできることは何だろう？一緒に体験して、未来のことを考えてみよう。

対象 集団活動が苦手な子どもとその保護者
※小学校高学年から中学生程度の内容です。高校生以上は保護者と一緒でなくても参加できます。
※顔出しが苦手な方は、適宜カメラをオフにしての参加や、チャット・AR フィルター・アバターを利用したの参加も可能です。



オンラインで働って？ 今からできることを考えよう

12/19
日

場所：オンライン(Google Meet)

参加費：親子1組 500円

AR フィルター・
アバター参加 OK

定員：親子 12 組

講師：高館美保子氏(いわてパノラマ福祉館 代表)

家に居ながらネットを介して働くにはどんな方法があるかな？
自分の力を発揮して働くためには何が大切？ 今から準備できることがあるよ！

13:30
~
14:30

1/30
日

中学卒業後どうする？色々な高校の話聞いてみよう！

場所：オンライン(Google Meet)

参加費：親子1組 500円

AR フィルター・
アバター参加 OK

定員：親子 12 組

普通高校と専門高校、定時制や通信制など
色々な高校があることを知ろう。自分に合う
スタイルは何だろう？ 卒業した先輩のお話
を聞けるよ。



13:30
~
14:30

申込はこちら

12月オンラインで働く 1月色々な高校の話



※「Peatix」のサイトで「オトナのスキル体験会」や「アコモン」と検索してもアクセスしていただけます。

ご協力者様を募集中です

子どもたちのキャリア教育・体験に力をお貸しくださる事業主のみなさまを募集しております。

ご協力よろしくお願ひいたします。



LINE公式
アカウント

アコモン



@accommon

主催：認定 NPO 法人accommon
後援（申請中）：盛岡市教育委員会 矢巾町教育委員会 紫波町教育委員会
※この事業は公益財団法人いきいき岩手支援財団の「令和 3 年度いわて子ども希望基金」の助成を受けて実施いたします。最新の予定は、ホームページをご確認ください。



④ 体験活動事業

■ 子どものてつがくカフェ

いわて哲学カフェ様のご協力のもと子ども向けのとつがくカフェを開催する予定だったが、参加人数が集まらず開催できなかった。哲学に親和性がある子・当事者はいると考えられ、「対話」によるメリットも大いにあると予想されるものの、興味を持ってもらえる形でイベントをアピールできなかった。対象やテーマなどの再考が必要である。

■ 盛岡 YMCA サポートプログラム（チャリティランプログラム）」

盛岡YMCA様のご厚意のもと、9月に「野外調理に挑戦しよう!」、1月に「ゲレンデで遊ぼう!」として野外活動を開催予定であった。しかし、いずれも直前に岩手県独自の緊急事態宣言が発令されたため、参加者の安全に配慮して延期とした。対面での活動ができない中、ボランティアリーダーと子どもたちの交流の場としてオンラインイベントを継続して開催していただいた。工夫を凝らしたクイズやゲームに夢中になる親子が多く、対面での参加のハードルを大いに下げることが予想されている。



■ 防災学習（災害時のライフハック）

昨年度にアイーナの防災への取り組みを会員親子が取材したが、今年度はその様子を動画にまとめ、第一弾をYouTubeで公開した。続きは編集したのから随時公開していく予定である。

また、アイーナから提供いただいた非常食ビスケット・保存水の試食を希望する各家庭で行った。防災豆知識をペーパーにして同時に配布した。

⑤ 機関紙等発行事業

広報誌第2号を発行した。

⑥ その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

■ 全般

ホームページ、活動ブログ、LINE公式アカウント、Facebook、Twitter、情報受信希望者へのメール等により情報の発信を行った。

まなびのHIROBAや居場所事業の活動のために毎年行っていたイオン盛岡店黄色いレシートキャンペーン店頭活動であるが、今年度は新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐために自粛した。

■ 相談・居場所「あいのま」

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、事務所で感染対策をしながら、相談・居場所の提供を行った。昨年度に引き続き、ペアレント・トレーニングの自主グループの居場所利用に加え、大人の当事者の自主勉強会の場としての居場所利用もあった。

■ 支援グッズの販売（居場所付帯事業）

サポートブックや受診メモなどの支援グッズの販売を行った。

■ 助成金等の申請

「発達障がいの子の自立のためのキャリア教育事業」が、令和3年度いわて子ども希望基金に採択された。

■ 研修等への参加

日時	内容
5月13日 (木)	「障害年金オンラインセミナー」（主催：（株）ジェイアイシー 講師：パークレー社会保険労務士事務所代表 社会保険労務士 嶋田千栄子氏）に、スタッフ・会員が参加（オンライン）した。
5月15日 (土)	令和3年度信州大学子どもこころ診療部セミナー「軽度知的障害におけるライフステージごとの課題」（主催：信州大学附属病院子どもこころ診療部 講師：医療法人唯愛会 桐の木クリニック院長 有賀道生先生）に、スタッフ・会員が参加（オンライン）した。
5月20日 (木)	「発達障害のある人は、どのような歩みをして大人になって行くのか～様々なライフステージにわたる支援を考える～」（主催：長野県生涯学習推進センター 講師：信州大学医学部 子どもこころの発達医学教室 教授 本田秀夫先生）に、会員が参加（オンライン）した。
5月25日 (火)	「高等教育における脳の多様性（ニューロダイバーシティ）」（主催：筑波大学ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター 発達障害学生支援プロジェクト 講師（第一部）：一般社団法人子ども・青少年育成支援協会代表理事・臨床心理士 村中直人氏 講師（第二部）：筑波大学ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター准教授 佐々木銀河先生）に、スタッフ・会員が参加（オンライン）した。

7月8日 (木)～8月 6日(金)	「女性の発達障害を理解する」(主催:「エール」鳥取県発達障がい者支援センター 講師:一般社団法人 発達障害専門センター代表理事 神尾陽子氏)に、スタッフが参加(オンライン)した。
7月16日 (金)	「誰でも参加できるSST(e-SSTを知ろう)」(主催:岩手県立大学(アイーナ事業) 講師:岩手県立大学 看護学部精神看護学教育研究分野 講師・SST普及協会認定講師:佐藤文教先生)に、スタッフ・会員が参加(オンライン)した。
7月22日 (木)	「WISC-IV検査のより実践に結びつく解釈と支援方法について」(主催:松本市特別支援教育研究会 講師:臨床心理士・臨床発達心理士・特別支援教育士等 大六一志先生)に、スタッフが参加(オンライン)した。
8月9日 (月)	NHKハートフォーラム「子どもの発達障害～〈子どもファースト〉をどう実現する?～」(主催:NHK厚生文化事業団 講師:信州大学医学部 子どものこころの発達医学教室教授 本田秀夫先生、一般社団法人 読み書き配慮 代表理事 菊田史子氏、神奈川県 横浜市立鴨志田中学校通級指導教室 主幹教諭 近藤幸男先生、公認心理師 綿貫愛子先生 藤田記久氏(当事者)、藤田希恵子氏(当事者の家族)、菊田有祐氏(当事者)、元村礼香氏(当事者))に、会員が参加(オンライン)した。
9月17日 (金)	「誰でも参加できるSST(様々な認知行動療法)」(主催:岩手県立大学(アイーナ事業) 講師:岩手県立大学 看護学部精神看護学教育研究分野 講師・SST普及協会認定講師:佐藤文教先生)に、スタッフ・会員が参加(オンライン)した。
10月17日 (土)	「『にじいろ子育て』と合理的配慮～子どもの個性を大切に育てる育みとこれからの発達障害支援」(主催:第126回日本小児精神神経学会、いわてこどもケアセンター 座長:岩手医科大学 八木淳子先生 講師:信州大学医学部 子どものこころの発達医学教室 教授 本田秀夫先生)に、会員が参加(オンライン)した。
11月7日 (日)	「公開シンポジウム(地域連携による子どもの発達支援)～子育て支援と発達支援をつなぐ～」(主催:岩手医科大学障がい児者医療学講座)に、スタッフ・会員が参加(オンライン)した。

11月12日 (金)	「誰でも参加できるSST(SST体験)」(主催:岩手県立大学(アイーナ事業) 講師:岩手県立大学 看護学部精神看護学教育研究分野 講師・SST普及協会認定講師:佐藤文教先生)に、スタッフ・会員が参加(オンライン)した。
11月20日 (土)~29日 (日)	「依存は子どものSOS~子どもを『知る』ことから始まる支援~」(主催:盛岡市医師会 講師:未来の風せいわ病院 鈴木りほ先生)に、スタッフが参加(オンライン)した。
12月5日 (金)	「アコモンの活動と発達障がいについて」(主催:特定非営利活動法人盛岡YMCA 講師:認定NPO法人accommon代表 成田礎野美氏)において代表の成田が講師を務め、スタッフが参加(オンライン)した。
2月5日 (土)	星槎大学大学院教育セミナー「インクルーシブ教育とは何か」(主催:星槎大学大学院 講師:星槎大学大学院教育学研究科 伊藤一美 准教授)に、スタッフが参加(オンライン)した。
2月7日 (日)~3月 31日(水)	「障害のある高校生の大学への移行に向けた取組と展望」(主催:筑波大学ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター)に、スタッフが参加(オンライン)した。
3月5日 (土)	星槎大学大学院教育セミナー「作文の苦手なお子さんへの具体的支援~小学校編」(主催:星槎大学大学院 講師:星槎大学大学院教育実践研究科 阿部利彦 教授)に、スタッフが参加(オンライン)した。
3月14日 (日)~5月 31日(月)	「知的・発達障害のある方の口腔衛生管理と合理的配慮」(主催:国立障害者リハビリテーションセンター 健康増進・運動医科学支援センター 講師:国立障害者リハビリテーションセンター 歯科医長 熊澤海道先生)に、スタッフが参加(オンライン)した。
3月25日 (金)	「誰でも参加できるSST」(主催:岩手県立大学(アイーナ事業) 講師:岩手県立大学 看護学部精神看護学教育研究分野 講師・SST普及協会認定講師:佐藤文教先生)に、スタッフ・会員が参加(オンライン)した。

■ 活動の展示・メディア等掲載

活動の展示は行わなかった。

メディア等への掲載はなかった。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名(定款に記載した事業)	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
①座談会事業	<p>集団活動が苦手な子どもの家族や本人を対象とした、悩みや情報を共有するための座談会</p> <p>親子の夜のTSUDOI</p>	<p>4/20 6/28 7/14 10/6 11/24 12/11 1/27 2/25</p> <p>12/11</p>	<p>事務所・オンライン</p> <p>オンライン</p>	4	盛岡市、花巻市、滝沢市、紫波町、一関市、岩手県外の保護者や本人 延べ56名	1
②勉強会事業 〔勉強会事業付帯事業〕 □出版および出版物販売	<p>行えなかった。</p> <p>「学校・園との連携ガイド」出版・販売</p>	随時	事務所等	4		
③学習支援事業 ■まなびのHIROBA	アナログゲーム大会	12/16	アイーナ	4	会員親子10名	19
③学習支援事業 ■キャリア学習	集団活動が苦手な子どもと保護者を対象に、進路や仕事について学び考			4	盛岡市、滝沢市、紫波町、一関市等の親子	269

	える活動を行った。				延べ 62 名	
オトナのスキル体験会	買い物でトラブル発生！？対応を考えよう	6/27	アイーナ			
	ドローンで何ができる？未来を考え飛ばしてみよう	8/1	乙部体育館			
	オンラインで働いて？今からできることを考えよう	12/19	オンライン			
	中学卒業後どうする？色々な高校の話聞いてみよう！	1/30	オンライン			
〔まなびのHIROBA 付帯事業〕 □制作物等販売	子どもたちが作製した販売用の作品を販売した。	随時	事務所等	4		1
	ガイドブックを販売した。	随時	事務所等	4		
④体験活動事業 ■防災学習	アイーナの防災への取り組みについて会員親子が取材した様子を動画にまとめ YouTube で公開した。	9月～	オンライン	2		10
	アイーナから提供を受けた非常食の	9月	各家庭	4	会員家族	

	試食を希望する会員家族で行った。				9家族	
⑤機関紙等 発行事業	アコモンとしての 広報誌第2号を発 行		事務所等	1		0
⑥その他、 この法人の 目的を達成 するために 必要な事業	情報発信 居場所・相談 助成金申請 研修等への参加	随時	事務所等	4		0 *①～⑤ 以外の 事業費

(2) その他の事業

2021年度は、その他の事業を実施しなかった。